

◇質問

市長には、庁舎を⑤街区に置くことで、枚方市駅周辺で進めたいまちづくりへの思いがあるはずですが、その考えを改めてお聞かせください。

→⑤街区新庁舎整備によって枚方市駅周辺で進めたいまちづくりに対する市長の思いは何か。

◇伏見市長

この枚方市駅周辺再整備で実現したいなまちづくりということで、今はですね、この計画も③街区、今進んでおりまして、商業施設、またホテル等々ですね、あの賑わいのできる施設ができておりますけれども、これに続いて、④街区の方につきましては、これもあの市駅周辺再整備全体として、やはり市内外からたくさんの方が訪れていただき、そして、さまざまな用事でこの枚方市に訪れていただく、そんなまちづくりをしていく必要があるというふうに考えています。

→枚方市駅周辺に賑わいを生む商業施設やホテル等を整備し、多くの人を訪れるまちづくりをめざす。

私もですね、例えば、どういうところに行くかという、多くの皆さん、買い物をするために、この前も、箕面市にですね、北大阪急行が延伸して、新しい商業施設が、キューズモールが出来上がりましたけれども、ああいう街も見に行きましたけれども、ああいうところにもですね、多くの方々が、近隣からも、まあ、遠くからも来られるかもしれませんけれども、この買い物するために多くの人を訪れていく。それからですね。私なんかでいきますと、子どもの頃からプロ野球見たり、高校野球見たりするのはですね。甲子園に行く。これは甲子園に行かないと魅力のある野球を見れないということで、そういうところに行きます。宝塚歌劇団を見たい方はこれはもう宝塚に行きます。子どもたちはですね、たくさん子どもたちは今、子ども会とか遠足で、このキッザニア甲子園とかですね、そういうところにたくさんの方が集まります。お隣の高槻市ではですね、将棋会館を誘致されて、これは、比較的、どれだけファンが多いかという、それぞれですけれども、こういう将棋を身近に楽しめることができるっていうのも一つの魅力だと思います。

→多くの人を訪れる魅力的な施設を枚方市にも整備したいと考えている。例としては、箕面キューズモール、甲子園、宝塚歌劇団、キッザニア甲子園、高槻将棋会館など。

また、これはスポーツ、それから音楽、芸術、コンサートとか、いろんなこう多くの方が行きたいと思うような施設がこの枚方市駅周辺にあれば、多くの方々集まり、そして、この他にも、枚方市の方は魅力あるものがありますので。枚方宿、それから天の川、淀川、これもですね、もっと活力あるような形にしていきたいと思っておりますけれども、それから総合文化芸術センターも北口にはできておりますので、この駅周辺ですね、多くの方が来ていただけるような、そんな街で、そしてウォーカブルでいろんなところに行けると、いろんな用事で集まってくる。そしてその人たちが周辺の商業施設でお金を落としたり、それで、経済が回っていくような、今後、枚方市として、未来をどう生き抜いていくかということにおいて、やはり、この賑わいを作っていくような、そしてそれで経済が回っていくようなそんなまちづくりをしていきたいというふうに考えております。

→枚方宿や天の川、淀川、北口側の総合文化芸術センターなどの地域資源を活用し、ウォーカブルで、多くの人を訪れる、賑わいが経済効果を生むまちづくりを市駅周辺で推進。

ただ、今の、現状におきましては、あまり具体的なことを申し上げますと、実際、先ほどからありますけど、検討、検討する、検討するということですけども、これ、やはり庁舎の位置がどこに行くかわからないような状況では、具体的なまちづくりを決めることができない。だから、庁舎の位置を決めて、それから、それから皆さんとともに具体的なまちづくりについて議論して、どれだけ魅力のある駅前にするかということ、これから皆さんとともに考えていきたいと思っております。まずは移転条例のですね、この決定、これを、皆さんにお願いしたいというふうに思います。

→庁舎位置を決定し、具体的なまちづくりについて皆さん(市民)と議論を進め、ともに考えていきたい。そのためにも、移転条例の決定をお願いしたい。